

エンジニアパーク

Engineer Ring Park

私は 29 歳で結婚し、妻と小中学生の娘 2 人、猫 2 匹の 4 人 2 匹家族です。娘たちが転校しなくて済むように小学校の入学前にマイホームを新築し、家族で穏やかに暮らしています。今回執筆の機会を頂きましたので、私のエンジニア人生をほんの少し振り返ります。

私は大学院で橋梁の耐震設計を学び、卒業後に『コンクリート橋の建設』を主力事業とする橋梁メーカーに入社しました。早いものでもう 20 年勤務しております。入社後 3 年の現場勤務を経て、設計部に 17 年所属しております。入社当時は、橋梁の新設工事が主な仕事でしたが、維持管理時代に突入し、最近では『高速道路リニューアルプロジェクト』の床版取替工事も受注額の大きな割合を占めるようになりました。私も床版取替工事の設計管理技術者として、毎日、忙しく働いております。床版取替工事は当社で初めて受注する工事で、『鋼桁』、『通信ケーブル・光ケーブル』、『道路標識』、『対面通行規制』など当社が新しく扱う工種ばかりです。このような新しいプロジェクトに着手する際、当然、事例調査を行って進めて参りますが、物件ごとにケースバイケースな部分もあります。そのような際、もっとも大事なことは『人との繋がり』であると実感しています。新しいことを始める際は、その分野に詳しい方にご指導を頂きながら進めていく。そのためには『人脈』というものがとても大事だと感じています。

私は現在、縁あって青年技術士交流委員会に所属しています。技術士の諸先輩や同級生、後輩など、皆さまに支えて頂きながら日々の業務を進めております。皆さまからの支えがあるから家族と一緒に穏やかに暮らせていると感謝し、これからも『技術士の繋がり』を大切に、精進して参ります。

齋藤 裕俊 (さいとう ひろとし)

- 建設部門(鋼構造コンクリート)
- 総合技術監理部門

勤務先

日本高圧コンクリート株式会社



→次号は、永野太一さん(建設部門)

北海道に来て 8 年が経ちました。私は高校まで広島で育ちましたが、都会にあこがれて東京方面の大学へ進学しました。大阪、埼玉と転々とした後、現在の会社に来るために札幌に来ました。その時は北海道で数年のんびりして、また都会に戻ろうと思っていたのですが、結婚したり子供ができたりといろいろあり、そのまま札幌に定住することになりました。

私は今では微生物の遺伝子組換え実験を専門にしていますが、大学では物理学を専攻してしていました。しかし受験勉強から解放されたうえにあこがれの都会生活ということで、あまりまじめに勉強していたとはいえない大学生活でした。その頃は気の赴くままに法律や経済など物理とは関係ない本を読んでいた。その中で分子生物学の本を読んだとき、タンパク質が反応の触媒や制御をしていて遺伝子組換えでそれらを操作することができると知り、遺伝子組換えをしたらなんでもできるのではないかと興味移ったので進路変更しました。また私は手先が不器用なのですが、試薬を混ぜるだけの遺伝子組換えならできるのではないかとという邪な考えもありました。実際にやってみると生物にはわかっていないこともたくさんあり遺伝子組換えでなんでもできるわけではないのですが、できることを組み合わせで実験を進めるのはパズルのようで面白いです。

北海道に来てから生物に関連した話としては、遺伝子組換えより食についての講演を聞く機会が増えました。おかげで北海道にはおいしいものがたくさんあることを知ってしまったので、食べるほうを頑張っているこの頃です。専門も頑張ります。

高橋 正裕 (たかはし まさひろ)

- 生物工学部門

勤務先

イムラ・ジャパン株式会社



→次号は、大友浩一さん(金属部門)